

## 2026年度 教育学領域紹介

### 1. この領域は教育学を学ぶ領域です

教育学は、学校種や教科の違いにあまりとらわれず、教育をめぐる様々な問いを解明するために、多様な方法を用いて追究する学問分野です。多様な方法には、教育哲学・人間学、教育方法学、環境教育論、教育社会学などがあります。

### 2. 広い視野で教育を捉える教師力が身に付きます

教育学領域では、現実を踏まえ広い視野で多角的に教育を考えます。教育とは教室の中で教科を教えることだけではありません。学校教員も教科を教えるだけではありません。広い視野で教育を捉えることが教員には求められています。教育学領域では、教育に関連することなら自由に学べるため、視野が広がります。

### 3. 「あたりまえ」を疑う深い学びができます

教育学領域では「『あたりまえ』を疑う学び」を大事にし、本当のところはどうか？ということを追及します。各教科を学ぶのではなく、学校や教育のあり方そのものについて深く学びます。

### 4. 希望者が上限をオーバーした時の受け入れ方法について

希望者が上限を超えるときには選考となります。過去には小論文や面接で選考しました。

### 5. 副免許状について

教育学領域の専門科目などで卒業要件に達する単位数をとれば、小学校教員免許を取得することができます。中学校・高校・特別支援学校の免許を取りたい場合には副免許をとることになります。副免許に必要な科目を「その他関連科目」として8単位まで卒業単位（教育学領域の専門領域科目）に組み込むことが認められています。

### 6. 「教育学入門Ⅰ・Ⅱ」について

2年生の科目として、春学期の「教育学入門Ⅰ」と秋学期の「教育学入門Ⅱ」があります。Ⅰは、専門に進むにあたっての教育学入門であり、教育学領域の教員全員によるオムニバス授業です。Ⅱは、教育学領域の教員それぞれによる教育学入門ゼミです。

### 7. 所属ゼミナールの選考とゼミ・卒業研究について

ゼミナールの配属が決まるのは3年次からです。2年次の秋学期に各人の希望を聞いたうえで、教員会議でゼミの選考を行います。各教員のオフィスアワーをぜひ活用してください。3年次春学期は「教育実習Ⅰ」（小学校）を行います。教育学領域の教員それぞれの「教育学演習」を実施します。3年次秋学期には「課題研究A（ゼミナール）」を、4年次には「卒業研究」を履修して卒論を執筆することになります。